

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は、日本史全般に関して、最新の研究成果に基づき、時代ごとの特質を明らかにしながら通史的に概説する。特に、時の権力者たちがいかんにして統治体制を構築し、民衆を支配していったのかという政治史的展開を中心に解説する。秋期は、江戸時代から戦後までの時期を取り扱う。

2. 授業の到達目標

- ・江戸時代から戦後までの基礎的な知識を習得する。
- ・江戸時代から戦後までの大まかな流れと各時代の特質について理解し、説明できる。
- ・高校までの教科書の理解を越えて、通説に対して自分の考えをまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

レポート課題(50%)、小課題(40%)、平常点(10%)で評価する。レポート課題は、授業内容をよく理解して書けているかが評価基準の重要なポイントとなる。ネットからのいわゆるコピー等は不正行為とみなして然るべき処置をとる。

4. 教科書・参考文献

教科書

特に教科書は指定しない。関連文献を適宜授業内で紹介する。

参考文献

木村茂光他編 『大学でまなぶ日本の歴史』(2016年) 吉川弘文館

佐藤信他編 『大学の日本史』全4巻(2016年) 山川出版社

5. 準備学修の内容

歴史は暗記科目ではないが、授業で扱う程度の知識を習得することが大学レベルの歴史的思考力を養ううえで求められる最低限の要件である。したがってノートやレジユメの見直しなどの復習により知識を定着させる努力を怠らないこと。そのうえで、授業で扱わない社会的・文化的事項などについても参考書などを読んで自ら積極的に知識を補うこと。

6. その他履修上の注意事項

- ・普段から日本史関係のテレビ番組や新聞・雑誌記事等に目を通すよう心がけること。
- ・「日本史概説Ⅱ」と「日本史概説Ⅰ」は内容的に連続しているので、あわせて履修することが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 御威光の体系—江戸幕府体制の成立
- 【第3回】 武断政治から文治政治へ
- 【第4回】 江戸時代の諸改革
- 【第5回】 近代化への萌芽
- 【第6回】 幕末と公議輿論
- 【第7回】 明治国家の形成
- 【第8回】 明治立憲体制の成立
- 【第9回】 帝国版図の拡張
- 【第10回】 大正デモクラシーと「憲政の常道」
- 【第11回】 満洲事変から日中戦争へ
- 【第12回】 太平洋戦争への道
- 【第13回】 太平洋戦争
- 【第14回】 敗戦と占領
- 【第15回】 吉田ドクトリンと湾岸戦争のトラウマ